

第3回自転車活用の推進に向けた有識者会議

アンケート結果





1) アンケートの目的と概要

【目的】

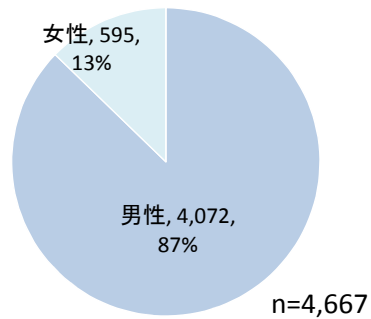
自転車活用推進計画の策定にあたって、自転車の活用を推進する上での課題や、自転車の活用を推進するために取り組むべき事項等についての把握が必要と考え、広く国民を対象としたアンケート調査を実施。

【概要】

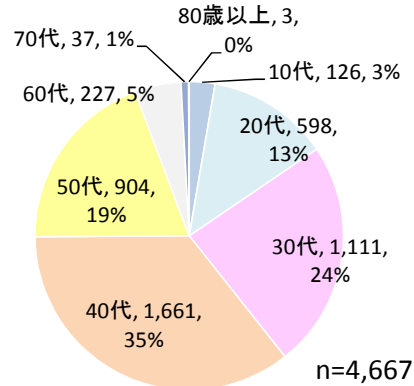
アンケート調査はweb調査(11月2日～11月15日)及び、松山市で開催された「自転車利用環境向上会議」(11月10日～11月11日)にて実施。自転車活用を推進する上で考慮すべき課題や取り組むべき事項について、自由記入方式で意見を募集。

2) アンケートの集計結果 票数4,667票(Web調査4,611票、向上会議56票)

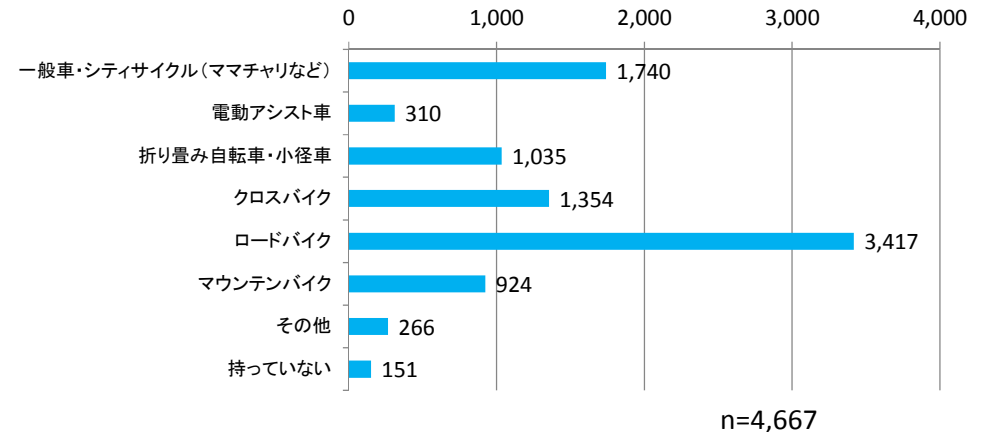
(1) 性別



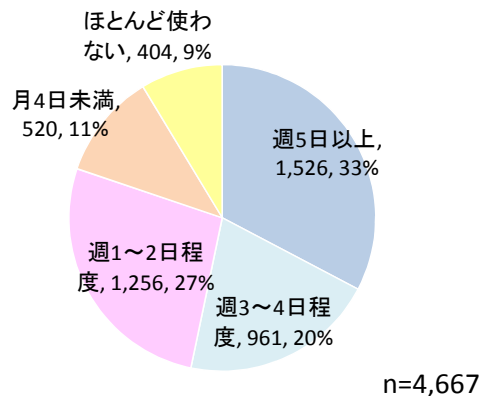
(2) 年齢



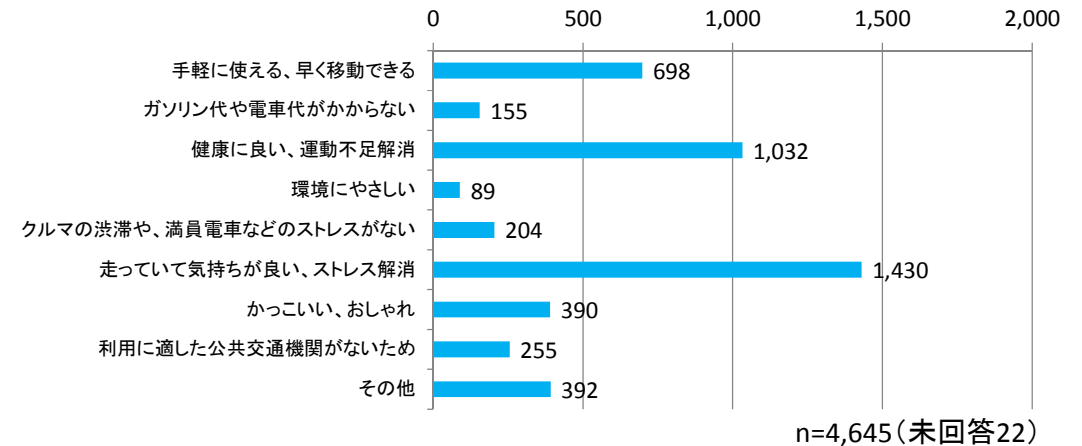
(4) 所有している自転車の種類 複数回答



(3) 利用頻度



(5) 利用理由のうち主な項目





基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
①自転車専用道路等の整備に関する施策	①自転車専用道路等の整備に関する施策【合計】	2,948
	・自転車専用通行帯等の安全な通行空間の整備が必要	1,291
	・連続して走行できる環境の整備	721
	・信号制御、立体交差化等、交差点の円滑かつ安全な通行環境改善策が必要	504
	・交差点の安全な通行の確保	448
	・自転車専用通行空間の整備促進	439
	・段差、側溝、雑草除去等、安全で走りやすい自転車通行空間の整備・維持が必要	311
	・歩行者の安全確保のために歩行者と自転車の分離が必要	274
	・歩道通行の禁止	255
	・サイクリングロードの整備、補修	109
	・車道上に安全な通行空間がないと、歩道から車道への転換が進まない	79
	・トンネル・橋等の走行危険箇所について、自転車歩行者道等の設置や、看板表示、迂回路設定等の安全対策が必要	69
	・自動車と自転車の並走は危険なので、物理的な分離が必要	58
	・自動車と歩行者・自転車との分離を図るための歩車分離信号の整備推進が必要	56
	・交差点での安全かつ円滑な通行のために、信号制御の見直し、立体交差化などの通行環境改善が必要。	56
	・車道に通行空間の整備に必要な十分な幅員がない	48
	・自転車の速度に応じた通行空間・通行位置の検討が必要	45
	・道路構造令に自転車専用通行帯の設置基準がない、ガイドラインでは幅員構成の根拠基準にならない等、制度面の見直しが必要	37
	・自転車道・歩道等の一方通行の標準化が必要、既存双方向についても交差点・切替部の設計の標準化が必要	37
	・車道通行や左側通行の周知、ドライバーへの注意喚起として、自転車専用通行帯や矢羽設置を進めるべき	36
	・自転車の案内表示、規制も含めたピクト表示等、自転車利用に関する情報提供の充実が必要	30
	・ピクトグラム、レーンの色彩等の統一、自転車利用に関する情報提供の充実が必要	30
	・高速自転車道、高速道路等の側道利用	22
	・通行空間の整備・維持に対して財政的支援が必要	21
	・自転車ネットワーク計画の策定が必要	21
	・通行空間の整備にあたり道路空間配分や自動車の規制速度の抑制、新設・改良に合わせた整備等を考慮することが必要	21
	・自転車ネットワーク計画策定に対する財政的支援が必要	19
	・自動車速度抑制とセットでの通行空間整備が必要	18
	・通行空間・ネットワークの必要性について、市町村が理解していないため優先順位が低く、整備への税投入に対する市民の理解も必要	17
	・複数の市町村を跨ぐ、また、同一市内の国道・県道・市町村道等、複数の道路管理者が関わる自転車ネットワークの場合、統一的な考え方が必要	15
	・バス停、パーキングメーター、駐車場出入口等の通行空間の安全対策が必要	14
・積雪寒冷地域の冬場の通行空間の安全確保が課題	12	
・生活道路内の歩行者・自転車優先の規制が必要	7	
・通行空間整備・検討に当たり、通行量や事故等の十分な調査が必要	6	
・通行空間を整備するために、道路空間再配分、新設・改良に合わせた検討が必要	2	

アンケート調査集計結果(2/6)



基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
②路外駐車場の整備等に関する施策	②路外駐車場の整備等に関する施策【合計】	648
	・通行空間上の路上駐車が問題	623
	・通行空間の整備区間における駐停車禁止、1.5m追越し等の法整備や、ポール等での物理的な路上駐車の排除が必要	75
	・駐車違反等取り締まり・規制の徹底	70
	・荷捌きスペースの確保に向けて、物流事業者による共同配送・行政による共同配送スペースの確保等の官民一体の対策や、路上への駐停車が必要な物流事業者・沿線商業施設への配慮の理解が必要	12
③シェアサイクル施設の整備に関する施策	③シェアサイクル施設の整備に関する施策【合計】	133
	・シェアサイクルを公共交通として位置付けた上で、導入に対する財政的支援や規制緩和が必要	130
	・シェアサイクル・バイクシェアリングの推進・促進	122
	・自転車利用環境向上のためのシェアサイクル普及、来訪者・観光客へのPRが必要	12
	・シェアサイクルの種類・整備にばらつきがあり、安全に利用できる条件などの最低要件を定めることが必要	5
	・公共駐輪場や歩道、路側帯、公開空地等の公共空間に、サイクルポートが設置できるような規制見直しが必要	3
	・市町村を跨ぐシェアサイクル導入の検討が必要	3
	・インバウンド需要等、既存交通サービスと競合しない客を取り込むことが、国・地域貢献につながるため、観光資源が多い地域での展開は期待できる。	3
	・シェアサイクルの利便性向上のために、サイクルポートの密度向上、自転車ネットワークと連動した配置、市町村を跨ぐサービス等が必要。	3
	・シェアサイクルの導入・維持コストの抑制が必要	2
	・市街地のサイクルポート密度向上や自転車ネットワークと連動したサイクルポート設置が必要	2
	・自転車利用環境向上のために、シェアサイクルの普及が必要	2
	・シェアサイクル増加に伴い、普段自転車を使わない人によるマナー悪化が懸念される	2
	・自転車ネットワークと連動したサイクルポート設置が必要	1
・自治体運営のシェアサイクルは、民間ができることを侵食している面もあり、低価格でのサービス提供等、民業圧迫になっており、事業の持続性も乏しく、将来的な再生が必要なものも出てくるのでは	1	
④自転車競技施設の整備に関する施策	④自転車競技施設の整備に関する施策【合計】	126
	・トラックレース・BMX・タンデム自転車等の国際規格の競技施設の整備が必要	117
	・スポーツ競技の振興	100
	・サイクリング施設整備や、公道を活用した大会がしやすい環境づくりが必要	20
	・施設整備の前に、国際的なイベント等で、競技人口を増やすことが重要	14
・オリンピックの成績を上げるために、自転車のスポーツ面の取組を充実させることが必要	8	



基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
⑤高い安全性を備えた自転車の供給体制整備に関する施策	⑤高い安全性を備えた自転車の供給体制整備に関する施策【合計】	168
	・有資格者による組立・点検・整備の標準化が必要	59
	・坂道・長距離利用が可能な電動アシスト等、機能性の高い自転車の開発・普及が必要	51
	・電動アシスト自転車のアシスト比率の適合状況表記の義務付けや、粗悪品の流通防止等、安全性に関する規制が必要。	49
	・ミラー・方向指示器・尾灯等の安全対策器具の開発・普及が必要。	19
	・障がい者向けのタンデム車や幼児同乗自転車等に対する安全性・法的要件等の明確化が必要	2
⑥自転車安全に寄与する人材の育成等に関する施策	・インターネット等の通販の自転車は特に整備不良が見受けられる。自己責任で乗せるのではなく、点検を義務化しないと整備不良は根絶できない	1
	⑥自転車安全に寄与する人材の育成等に関する施策【合計】	17
	・安全教育・指導・啓発活動を行う人材育成が必要	17
	・教育・規制・取締の一体的な運用や、企業や学校に指導するアドバイザー制度等、ルール・マナーの教育を行う仕組みづくりが必要	16
	・ルール・マナーの教育を行う団体に対する財政的支援が必要	1
⑦情報通信技術等の活用による管理の適正化に関する施策	・外国語の話せるショップ(=持ち込んだ自転車が壊れた際の修理)やレンタルの設置を望む。	1
	⑦情報通信技術等の活用による管理適正化【合計】	104
	・データの活用・ITの活用	103
	・自転車登録制度の統一化が必要	15
	・ICタグ等を活用した、自転車の管理システム、防犯登録、反則金制度の導入が必要	12
⑧交通安全に係る教育及び啓発に関する施策	・データの収集・分析	3
	⑧交通安全に係る教育及び啓発に関する施策【合計】	3344
	・歩道通行、逆走、並走、一時停止しない、歩道への放置等、ルールを守らない自転車が多いため、自転車利用者へのルールの周知徹底が必要	1531
	・道交法違反行為や、賠償責任保険加入ルール違反者に対する対応の検討が必要	797
	・反則金の導入等、取締の強化が必要	685
	・ルール・マナーの徹底を進める必要	627
	・幼児から高校生、保護者を含めた教育課程における安全教育が必要	386
	・自動車ドライバーに対しても、自転車ルールの周知徹底が必要	382
	・自転車運転講習制度の拡大が必要	297
	・自転車利用時の交通ルールやマナーについて学べる機会をより多く設ける必要	167
	・自転車を安全に利用するために、CM・イベントによる大規模な周知、整備と運動した啓発、地域での声掛け等の啓発活動が必要	92
	・ヘルメット着用等の自転車利用時の安全対策が必要	59
	・学生・免許保有者にとどまらず、幅広い層への安全教育が必要	59
	・外国人に対する交通ルールの周知が必要	47
	・自転車利用増加によるマナー低下・事故増大や、車道走行徹底により怖いから利用しない人が増えることが心配	25
	・自転車の安全な通行環境と自転車利用者の法令遵守意識が確立されるまでの間は、引き続き現行の規制を継続することも検討するべき	25
	・利用者へ交通安全教育・啓発が必要	23
	・安全教育を実施する際、自治体、学校、民間、交通事業者、販売店等の連携が必要	17
	・属性種類別の教育方法、検定制度、継続的な教育、VRIによる体験型学習等、効果的な交通安全教育・啓発方法を検討することが重要	9
	・ルール・マナーの教育に対する財政的支援が必要	7
	・違反・罰則からルール遵守者へのインセンティブに転換すべき	3
	・外国人に自転車販売をする際には最低でも一度は道路交通法や自転車マナー講習を義務化して下さい。	1

アンケート調査集計結果(4/6)



基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
	⑨国民の健康の保持増に関する施策【合計】	141
⑨国民の健康の保持増に関する施策	・自転車による健康増進	84
	・障がい者がサイクリングできる環境整備が重要。	25
	・自転車活用した健康増進に関する統一的な指針が必要。	25
	・自転車利用時の心拍数・運動量等のデータを示すことや、自転車利用者の骨密度等に関するエビデンスの整理・実地・研究の体制づくりが必要。	6
	・自転車通勤は健康によく、やる気・落ち着き等の生産性向上にもつながることをPRすることが必要	4
	・健康増進に向けたサイクリング環境づくりや、ソフト施策の展開、自転車利用を普及させるための人材確保が必要。	2
	・健康の保持増進に向けて、サイクリストを増やすことが重要。	2
	・自転車での運動は膝の負担も少ないので、子供から高齢者まで幅広い層の健康増進・体力向上に活用することが必要	1
	⑩青少年の体力の向上に関する施策【合計】	21
⑩青少年の体力の向上に関する施策	・青少年の体力向上を図るために自転車を活用	17
	・幼少期からの自転車に接する機会を与え、自然と自転車に触れる機会が必要。	4
	・自転車の競技力・体力面の向上に取組む際には安全面の配慮が必要	1
	⑪公共交通機関との連携の促進に関する施策【合計】	171
⑪公共交通機関との連携の促進に関する施策	・鉄道との連携強化	115
	・サイクルトレインの実施には混雑時を避けた運用、利用者マナーの向上、料金体系整理やルールの統一化も必要	73
	・公共交通（鉄道・バス）と自転車利用を連携する取組が必要	65
	・公共交通機関に自転車を持ち込める、輸送等の環境整備が必要	47
	・サイクルトレイン導入には、安全確保のための車両改良や円滑な持込みのための駅舎改良が必要	39
	・シェアサイクルを公共交通と位置付けることが重要	28
	・サイクルトレイン・サイクルバスの増加	26
	・バスとの連携強化	20
	・船・フェリーにおける快適な利用環境を整備する必要	17
	・航空との連携強化	17
	・公共交通機関に自転車を持ち込める、輸送等の環境整備として、輸送利用者の組み立て場所や着替え場所等、サポートの充実が重要	15
	・駅周辺の駐輪施設整備のために、道路空間等の公共用地の活用や、駐車場等の低未利用地の活用、鉄道事業者による用地提供等が必要	2
	・自転車の車内やトランクへ持込むサイクルラック開発バス導入が必要	1
	・駅周辺の結節点整備の全体計画として自転車駐車場の位置づけを明確にすべき	1
	・船舶との連携強化	1
	⑫災害時の有効活用体制の整備に関する施策【合計】	14
⑫災害時の有効活用体制の整備に関する施策	・災害時に自転車を利用できる体制の構築が必要	14
	・災害時の自転車活用に対して財政支援が必要	13
	・災害時に有効なノーパンクタイヤの導入が必要	13
	・災害時に自転車が利用できる体制づくり、活用に対する財政的支援、習慣的な自転車利用、ノーパンクタイヤ導入が必要。	13
	・自転車を発電機として利用	1



基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
⑬ 自転車を活用した国際交流の促進に関する施策	⑬ 自転車を活用した国際交流の促進に関する施策【合計】	29
	・海外との情報交換	29
	・外国人向けのツアーやシェアサイクルの利用の周知、団体向けレンタサイクルシステムの構築が必要	26
	・外国人・インバウンドの利用促進	26
	・外国人向けサービスとして、標識や案内表示の多言語化や外国語ガイドの人材確保などが必要	10
	・外国人に対する交通ルールの周知が必要	8
	・外国語ガイドの人材を確保することが重要	5
	・国際交流のためのサイクルイベント・サイクルレースの実施が必要。	3
	・海外団体客向けのレンタサイクルシステム構築が必要	2
	・国際交流の拡大	2
⑭ 観光来訪の促進、地域活性化の支援に関する施策	⑭ 観光来訪の促進、地域活性化の支援に関する施策【合計】	162
	・国内外に発信できる魅力的なサイクリングコースの設定、安全な通行環境の整備、維持管理体制の構築が必要	160
	・標識設置、レンタサイクル充実、駐輪スペース確保、荷物受取サービス、トラブル対応、ガイド育成、休憩・宿泊施設の充実、マップ作成などが必要。	44
	・サイクリングルートの整備・維持管理、サイクリングコース沿線の休憩施設やトイレ等整備に対して財政支援が必要	30
	・地域視点・地域住民と連携したサイクリングルートの設定が必要	30
	・民泊・歴史案内等の地域視点・地域住民と連携したサイクリングルートの設定や地域密着型の自転車ツアーが必要	29
	・外国人観光客向けの案内、マナー向上が必要	29
	・鉄道・バス等の公共交通と連携した観光利用環境の向上が必要	22
	・幅広い層へ全国的なPR、観光情報の発信、利用促進イベント、PRツール開発が必要	22
	・自転車観光に関する情報を発信することが重要	17
	・サイクルツーリズムに向けた国内外へのプロモーションが必要	17
	・サイクリングルートの安全な通行環境の整備、維持管理体制の構築が必要	16
	・標識や案内表示等の設置が必要	13
	・サイクリングガイドの育成が必要	13
	・自治体などの地域の取組、ノウハウの共有が必要	11
	・民間企業との連携や取り組みに対する財政支援が必要	9
	・サイクルツーリズムに向けた国内外へのプロモーションやポータルサイト等の立ち上げ等が必要	8
	・サイクリングルートの整備・維持管理に対して財政支援が必要	7
	・荷物受取・トラブル対応等、サイクリストの受け入れ環境が必要	6
	・サイクリングマップの作成が必要	4
	・都市公園・自然公園等の観光活用の検討が必要	4
	・観光振興のために、環境整備、仕組み・体制づくり等の総合的な取組が必要	2
	・民泊・歴史案内等、地域密着型の自転車ツアーが必要	2
	・サイクリスト向けの休憩・宿泊施設を充実させることが必要	1

アンケート調査集計結果(6/6)



基本方針	アンケート調査の主な意見	意見数
⑮その他の意見	⑬その他の意見 (駐輪関連施策(ハード))【合計】	522
	・無料駐輪場の整備	148
	・都心部や駅周辺の駐輪施設が不足しているため整備が必要	123
	・盗難防止対策が施された駐輪場の整備(立体機械式、防犯カメラ、アースロック、ホテル持込、有人管理等)	91
	・駐輪施設の確保のために、行政、商店、民間の駐車場事業者が協力して進める仕組みが必要	35
	・コインロッカーやシャワー施設などがある自転車ステーションの整備	30
	・駐輪場の上屋や様々な自転車が利用できるラック等の利便性向上が必要	29
	・自治体や附置義務措置施設が駐輪施設の整備を行い、適切に運営すべき	8
	・通勤・通学時の長時間利用、買物時の短時間利用等の多様なニーズに対応した中心施設が必要	7
	・公共用地等を柔軟に活用しながら、小規模な路上駐輪施設の設置を進めていくことが必要	5
	⑬その他の意見 (利用促進)【合計】	167
	・市民の自転車活用に対する意識が低く、意識の改革・熟成が必要	147
	・民間・行政が連携した利用啓発が必要	111
	・自転車通勤の促進が必要	86
	・利用促進に向けたキャッチフレーズ、イベント等が必要	56
	・地方は自動車为中心、坂が多い・気温が高い等、自転車利用が少ない地域も多い	40
	・自転車を総合交通体系の中に位置づけ、自動車からの転換・CO2削減の自転車活用効果を示す等、重要性・メリットを伝えることが必要	29
	・女性の自転車利用促進が必要	22
	・都市部と地方部の自転車利活用方策は分けて議論する必要がある。	16
	・自転車活用のメリット(環境面、健康面、災害対応、観光誘客など)が十分に伝わっていない。	12
	⑮その他の意見 (コンパクトシティの形成)【合計】	1
	・高齢者の利用をという観点やコンパクトシティ形成などのまちづくりの観点が必要。	1
	⑮その他の意見 (その他の意見)【合計】	1771
	・自転車保険加入の義務付け	165
	・個人賠償責任保険への加入を進める啓発活動が必要	163
	・放置自転車対策が必要	97
	・高齢者が安心して利用できる環境の整備	67
	・物流用電動アシスト車のサイズ等の規定と通行環境の対応検討が必要	62
	・タンDEM自転車やハンドバイクなど多様な自転車の利用に対するルール整備、公道走行の制度整備が必要	37
	・ロードバイクとママチャリを別の乗り物として扱うべき	29
・自転車の安全な通行環境と自転車利用者の法令遵守意識が確立されるまでの間は、引き続き現行の規制を継続することも検討するべき。	25	
・タンDEM自転車の区域制限をなくしてほしい	25	
・電動アシスト自転車に関する規制緩和	10	
・悪天候(降雨も含む)時の自転車利用の方向性を考えることが必要	6	
・カーゴバイクなどの運搬用自転車の規制緩和	5	
・スポーツ自転車の速度抑制	2	
・脊髄損傷のリハビリテーションの一つにハンドバイクを取り入れ、乗り方の習得だけでなくルールの習得などを車いす利用者も学べる施設があると良い	1	
・その他の意見	1146	